



## The development and validation of the ethical sensitivity questionnaire for nursing students

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 浜松医科大学 公開日: 2019-11-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 村松, 妙子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10271/00003659">http://hdl.handle.net/10271/00003659</a>

## 論文審査の結果の要旨

倫理的感受性は、倫理的意思決定プロセスにおいて、重要な役割をしており、倫理的問題に対処するためには身につけ高める必要がある。しかし、看護学生の倫理的感受性を測定する尺度はこれまでに報告がない。そこで、看護学生のための倫理的感受性質問票を開発し、その信頼性と妥当性を検証した。まずは、看護実践の場における倫理的問題や倫理的葛藤の場面に関する文献を検索し 48 項目の質問票を作成した。次に、看護倫理を専門とする教員と臨地実習を担当している教員が評価した。また、卒業生には、表現の評価を依頼した。その結果、1 項目を削除し、2 項目の表現を修正した。次に、4 年制看護大学 10 大学へ合計 2480 部の質問紙を配布した。計 528 部のアンケートが回収され、有効回答は 525 部であった。探索的因子分析を行った結果、13 項目 3 因子が特定された。第 1 因子「患者の意思尊重」は 8 項目、第 2 因子「資源の公正な分配」は 3 項目、第 3 因子「患者情報保護への配慮」は 2 項目で構成され、各因子のクロンバック  $\alpha$  は 0.77-0.81 の範囲であり、質問票全体では 0.82 を示した。再テスト法の結果は、質問票全体では相関係数 0.42 ( $p < 0.01$ ) であった。基準関連的妥当性を検討するために単回帰分析を用いて、信頼性が確立されている既存の質問票である道徳的感受性テストおよび改訂道徳的感受性質問紙日本語版と本質問票を比較した。道徳的感受性テストの主成分 5 「ケアの葛藤の判断」、改訂道徳的感受性質問紙日本語版の第 2 因子「道徳的な気づき」との関連が示された。検討の結果、倫理的感受性質問票は十分な基準関連妥当性と内部一貫性信頼性を示した。

審査委員会は、今回開発された倫理的感受性質問票は看護学生のための倫理教育の学修成果を評価できる世界で初めての方法であることを高く評価した。以上により、本論文は博士（医学）の学位の授与にふさわしいと審査員全員一致で評価した。

論文審査担当者

主査 梅村 和夫

副査 中村 和正

副査 永田 年